

◇ 行政視察概要 ◇

委員会名	総務常任委員会		産業建設常任委員会		厚生常任委員会		議会活性化対策特別委員会	
委員名	[委員長] 森 鳥次 [副委員長] 廣瀬 孝人 [委員] 山下 秋則 [委員] 鞆岡 誠 [委員] 谷尻 宣雄 [委員] 野中 一秀 [委員] 松尾 武治		[委員長] 川勝 儀昭 [副委員長] 仲村 学 [委員] 西村 好高 [委員] 野村 健 [委員] 木戸 徳吉 [委員] 柿迫 正紀 [委員] 小中 昭		[委員長] 林 茂 [副委員長] 仲 綱枝 [委員] 前田 義明 [委員] 谷尻 昌史 [委員] 大町 功 [委員] 井尻 治 [委員] 今面 不悖		[委員長] 松尾 武治 [副委員長] 野村 健 [委員] 森 鳥次 [委員] 谷尻 宣雄 [委員] 廣瀬 孝人 [委員] 井尻 治 [委員] 林 茂 [委員] 山下 秋則 [オブザーバー] 議長 橋本 尊文 [オブザーバー] 副議長 小中 昭	
視察先	岡山県新見市	鳥取県米子市	岡山県高梁市	香川県坂出市	富山県小矢部市	石川県七尾市	東京都八王子市	東京都小平市
視察日時	H27.8.10(月) 午後2時00分～ 午後4時00分	H27.8.11(火) 午前10時～正午	H27.7.22(木) 午後1時30分～ 午後3時30分	H27.7.23(木) 午前10時～正午	H27.8.6(木) 午後2時30分～ 午後4時00分	H27.7.28(火) 午後1時00分～ 午後2時30分	H27.7.27(月) 午後1時30分～ 午後3時30分	H27.7.28(火) 午前10時～正午
調査事項	「地域おこし協力隊」を活用した地域振興について	「ふるさと納税制度」を活用した地域振興について	農業後継者支援（新規就農支援）事業の取り組みについて 定住と就農が一体となった支援策の取り組みについて 6次産業の取り組みについて	都市計画の線引きによる効果・影響について	高齢者地域支援事業について 富山型デイサービスについて	介護予防の取り組みについて	基本条例の制定に向けた議会内論議の進め方について 議会報告会の取り組みについて基本条例等検討会での論議など制定までの議会論議について 基本条例制定に向けた事務等の注意点について	市民と議会の意見交換会について ・意見交換会の持ち方について ・計画から当日の運営について ・意見交換会での要望意見の取扱いについて
教示内容など (抜粋)	<p>新見市では、平成26年度から地域おこし協力隊に取り組み、4名を4支局で受け入れ、27年度からは、「Pino女子」とか「林業男子」という名目で、林業・農業に特化した受入で16名が活動されています。</p> <p>一番の願いは、全員が地域に根付いてもらうことであり、そのため市の職員が一緒に案内し、地域の集まりや行事に積極的に関わる手助けを行ってまいります。</p> <p>財政面でも年間240万円の報酬金と活動費200万円が支給されており、財源は特別交付税の他、県の上乗せもあり、実質市は20万円でこれらの事業ができています。今後も、増員の予定とすることでした。</p>	<p>ふるさと納税制度について、平成20年度から取り組まれ、平成25年・26年は全国上位にランクされ、平成26年は4億7千万円を超えています。</p> <p>その取り組みとして記念品を地域企業にお願いされ、市がインフレットを作成し、全国に向け情報発信することで米子市と企業のPRや納税サイトでのクレジット決済を可能にされました。</p> <p>納税分は、一旦基金に積立、市民はもちろん納税者にも使い道を広げ、より良い納税理解を求められています。</p> <p>公債比率は、決して低い方ではなく、施設の老朽化や少子高齢化等の課題を抱えているが、この施策により、米子を好きになり応援していただき、先々定住してもらえれば事務経費以上の効果があると前向きな考え方でした。</p>	<p>市独自施策として、新規参入者に百万円、後継者に十万円等の支援があり、市有地である農地をトマ、ブドウの園地として空家とともに貸出されています。</p> <p>また、住宅新築助成制度や家賃助成制度も組み合わせた農業振興に取り組みられています。</p> <p>6次産業においては、特産のピオーネを干しブドウに加工したり、茶葉を紅茶に加工し、県内外に出荷されています。</p> <p>それぞれPR方法や園と県からの助成制度との関係や定住実績等について、実際の就農者の方とも意見交換し、現地視察も行いました。</p>	<p>都市計画区域における市街化区域と調整区域の線引き制度が、人口減少や産業振興等の理由により廃止されており、その効果と影響について視察しました。</p> <p>今日に至るまでの経緯や隣市との調整、農振法や農地法との関わり、土地利用の可能性や、その後の開発や人口推移等について説明を受けました。</p> <p>また、県との関わりや当時の計画との差異、人口流入と流出状況、耕作放棄地の解消、特定用途制限、固定資産税の税収状況等の質疑をしました。</p>	<p>富山型デイサービスは、富山から全国に発信した新しい形のサービスで、高齢者も障がい者も子どもたちも同じ屋根の下で共に楽しく過ごせる場として、個々のニーズに合ったケアを提供する中、様々な相乗効果が生まれているとのこと。</p> <p>高齢者地域支援事業も多くの取り組みを実施されており、市独自の在宅高齢者・介護者を支援するサービスや介護保険以外で、要支援・要介護に認定された方への支援等の概要や成果・課題について、意見交換をしました。</p>	<p>介護予防の取り組みについて研修を受け、介護保険の新規認定者の半数が生活習慣病によるものという現状から、介護予防に力点を置かれてい事業を行う上での課題に対応するため、介護予防地域サポーター養成講座を実施されています。</p> <p>高齢者の社会参加や交流の促進で自主的に介護予防に取り組まれ、19名のサポーターを養成されています。</p> <p>また、保険給付費や介護保険料が増加する中、これらの削減を図るため、介護支援ポイント制度もスタートされています。</p>	<p>議長の間接機関である「議会基本条例等検討会」を設けられ、議会基本条例を中心とした共通認識を作ることと主眼として、検討課題の議論を重ねられ、報告書を答申されました。</p> <p>次に条例の素案作成を目的として議長から諮問を受けた「議会基本条例素案準備会」が設置され、委員が積極的な議論を通じ、素案を作成され、議長に答申されました。</p> <p>その後、正式に議会基本条例の策定を付議事項とする「議会基本条例特別委員会」が設置され、委員14名が3つのワーキンググループに分かれ話し合いを重ね条例案と逐条解説を作成されました。</p> <p>また一方で、市民との意見交換会や専門家との検討会を行い、条例案に反映されました。</p> <p>こうして、八王子市議会基本条例を制定され、市民に開かれた透明性の高い議会運営をされています。</p>	<p>任意の研究会を立ち上げられ、超党派で議会の在り方を検討しようという流れから始まり、議会改革調査特別委員会が設置され、議論を重ねる中で、合意に至ったものから実践されました。</p> <p>その後、議会改革推進特別委員会を設置され、議会基本条例を是非とも制定しよう取り組まれ、平成26年3月に議会基本条例が制定されました。</p> <p>また、市民との意見交換会では、議会が変わる！暮らしを変える！をテーマにしたり、議会常任委員顔ごとにテーマを決めたりして、意見交換会をされています。</p>
	取組意欲、財政共に参考にさせていただきたいと思っております。	本日もこの施策が点から面へ広がる重要性を感じる研修でした。	両市においては、農業振興と都市計画と事業は異なるものの、定住促進という共通の目的があり、南丹市においても今後の事業展開において大いに参考となり、意義深い視察となりました。	本市中でも、共通の課題も多く、誰もが健康で生き生きと暮らせるまちを目指し、施策の推進に取り組みたいと思っております。	研修で知見したことを活かし、研鑽を積みながら、より一層議会改革に取り組み、開かれた議会運営を目指します。			
写真	 	 	 	 	 	 	 	 